

食品安全委員会と豪州・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ) との定期会合開催

2014年6月、オーストラリアの首都キャンベラで、FSANZとの定期会合を行いました。

2010年7月に、食品安全委員会と豪州・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ) の間で協力文書 (Memorandum of Cooperation)



▲第2回定期会合を行った食品安全委員会とFSANZのメンバー。

を交換し、連携強化に努めています。

2013年7月に東京で開催した定期会合に引き続き、2014年6月、食品安全委員会の熊谷委員長と事務局職員がオーストラリア・キャンベラのFSANZを訪れ第2回定期会合を開催しました (FSANZ側はマツカチョン長官等が出席)。

会合では、次年度に協力文書の更新を行うことについて合意し、さらなる情報交換を進めることで一致しました。また、リスクコミュニケーションや食品添加物に関するリスク

評価など、幅広い分野で有意義な意見交換を行いました。

豪州・ニュージーランド食品基準機関とは

食品の安全の維持を図ることにより、オーストラリア及びニュージーランドの国民の健康と安全を保護することを目的として2国間で設立した機関です。食品安全委員会と同様に食品のリスク評価を行うほか、2国間で統一した食品の規格や表示基準の策定を行う等、日本のリスク管理機関の機能の一部も担っています。

FSANZ : Food Standards Australia New Zealand

ジュニア食品安全委員会

夏休みのひととき、食品安全委員会大会議室に、小学校5・6年生13名のジュニア委員が集まりました。

「子ども霞が関見学デー」の参加プログラムのひとつとして、今年も8月6日に「ジュニア食品安全委員会」を開催しました。事前に委員への質問を準備した人、作文を作った人など、熱心な13名の小学5・6年生とその保護者の方々が参加してくださいました。

食品安全委員会の熊谷委員長からひとりずつに「ジュニア食品安全委員会委員任命書」が手渡され、「食品の安全は誰が守るの?」というテーマでクイズとレクチャーがスタート。全問正解者が3名と、今年も皆さん大健闘でした。委員との意見交換の時間には、「食べ物の危険と安全

▶食品安全委員会の熊谷委員長から、「ジュニア食品安全委員会委員任命書」がひとりずつに手渡されました。



をどうやって見分けるのか」「食品安全委員会を知らない人も多いと思うが、たくさんの人が食品安全について関心が持てるように、どんなことをしているのか」等、委員を唸らせる質問が寄せられました。

8年目を迎えたこの会で毎回感じることは、子どもたちからの多岐にわたる疑問点に対して「正確に」「簡潔に」「わかりやすく」説明することの難しさです。そんな「難しい」質問に丁寧に応えようとする委員の姿と共に、夏休みの楽しいひとコマとして思い出して頂けたらと願います。参加者のみなさん、ありがとうございました。



ジュニア食品安全委員会

<http://www.fsc.go.jp/koukan/junior2608/junior-tokyo2608.html>